

平成27年度事業計画書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 学術研究助成事業

感染症の基礎的あるいは臨床的研究及び感染症に関する疫学的研究を行っている若手の個人を対象に、一般細菌感染症、ハンセン症、リケッチア症、寄生虫病などの研究課題に対して、公募により申請された研究計画を審査選考のうえ、本年度は第42回目の学術研究助成金贈呈者を決め、3月に贈呈する。

総額800万円（1件100万円）予算計上。

2. 顕彰事業

顕彰事業である次の各賞について、公募推薦された個人を審査選考の上、表彰を行い当該事業における一層の拡充を図る。

(1) 「大山健康財団賞」第42回

発展途上国において、長年医療協力に尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者個人に対し、表彰状、メダル、副賞（100万円）を贈呈する。

(2) 「大山激励賞」平成27年度

大山健康財団賞に準ずる功績のあった医療関係者を対象とし、今後一層の活躍が期待される個人に対し、表彰状、副賞（50万円）を贈呈する。

3. 学術集会支援事業

本年度は下記の学術集会に対し助成する。

(1) 第29回日本バイオフィルム学会学術集会開催に助成。30万円予算計上。

開催期間：平成27年7月10日～11日

開催場所：ホテル竹島(愛知県名古屋市)

学 会 長：吉村 文信 先生(愛知学院大学 歯学部 微生物学講座 教授)

本集会は、医学、歯学、獣医学、薬学に留まらず、理学、工学、資源（農）学などに所属する国内の研究者が一堂に会して、バイオフィルム研究をテーマに、活発な研究発表や討論を行い、さらに、バイオフィルム研究における学際横断的な情報を交換することを目的とする集会である。

(2) 第49回日本無菌生物ノートバイオロジー学会開催に助成。30万円予算計上

開催期間：平成28年1月下旬

開催場所：宮城県仙台市

学 会 長：磯貝 恵美子（東北大学大学院農学研究科 教授）

本学会は無菌生物学およびノートバイオロジーの進歩ならびに普及をはかりこれを

通じて学術・社会の発展に寄与することを目的とする。学術集会の場では、会員による研究内容の口頭発表および招待講演者による特別講演およびシンポジウムにおける学術講演が行われる。

4. 年報作成

平成25年度大山激励賞受賞者(大山健康財団賞は該当者なし)の紹介及び学術研究助成金贈呈者の業績報告集(年報No.40)を作成することとし、30万円予算計上。

5. 寄附金

国際医学研究会(慶應義塾大学医学部学生組織)の第38次派遣団の下記の活動に寄附をすることとし、30万円予算計上。

同研究会は、1978年より毎年南米を中心に世界各地に医学生を派遣し、「医の原点の実体験」および「医学医療を通じた国際交流」、「活動を通じた現地への貢献」を基本指針とし、国際医療活動を行っている。平成27年度は下記の予定である。

訪問日程：平成27年7月18日～8月30日

訪問予定国：ブラジル、キューバ

6. ホームページの創設

本財団も「公益財団法人」となって早くも2年を経過するが、公益目的事業の1つの柱である大山健康財団賞及び大山激励賞の募集に当たり外部からの推薦が極めて少なく、選考に大変苦慮しているのが現状である。

対外的にも本財団の認知度を上げ、外部からも多数の推薦が得られる様にするためにも、また、外部への情報発信を適宜、適切に行える様にするためにも、本財団独自のホームページを立ち上げる必要がある。そのための予算150万円を計上する。

以上